

## 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

株式会社学研データサービス

## ②事業者情報

名称：	グローバルキッズ アリオ上尾園	種別：	保育所
代表者氏名：	北田 千恵子	定員(利用人数)：	19 名
所在地：	〒362-0046 埼玉県上尾市大字壺丁目367番地 アリオ上尾1F	TEL	048-726-7007

## ③評価実施期間

平成 30 年 5 月 28 日（契約日）～平成 30 年 10 月 26 日（評価結果確定日）

## ④総評

## ◇特に評価の高い点

<ショッピングモール内にある園として、その特性を生かした保育が充実しています>

当園は大きなショッピングモールの中にある小規模保育園です。ショッピングモールには、食料、衣服、自転車、床屋など日常生活に関するものは十分に揃っています。0～2歳児の小規模保育である特性を生かし、子どもたちに必要な社会体験を十分に味わってもらえるようにしています。最近では、いろいろな野菜を購入してスタンプ遊びに利用しました。その作品は保育室内に掲示してあります。また、シャボン玉を購入してシャボン玉で遊びました。さらに郵便ポストもありますので、ポストが何のためにあるのか子どもたちに説明するなど、ショッピングモール内を歩きながら、さまざまなものに触れ合っています。また、お店の人と挨拶を交わしたり、いろいろな仕事をする人たちと出会ったりする機会があります。

このほか、子どもたちは近くの公園や広場に出かけ自然物と触れ合っていますが、雨の日が続いたりした場合でも、このショッピングモール内を散歩代わりに歩いています。このようにショッピングモールの特性を生かし、生活に根ざした体験が充実しています。

<職員同士、職員と保護者など連携が緊密にとられています>

当園は正規の職員が4名、非常勤の職員が9名の体制で19人の0～2歳児を保育しています。職員の数に限りがありますので、保育時間帯は職員同士の連携が密に取られていませんと、安全面で支障をきたします。また、非常勤職員の時間帯もさまざま、年齢間の連携がないと十分な保育ができません。このような中、非常勤職員を含む職員同士は日常的にコミュニケーションを取り保育を進めています。ときには園長も中に入り、適切なアドバイスをしています。こういった日常の保育の姿は保護者にも伝わり、多くの保護者の感謝の声が聞かれます。具体的な感謝の声として、子どもの体調管理のすばらしさ、子どもたちに対する優しい接し方、職員みんなで子どものことを見てくれる、どの職員もきめ細やかに対応してくれるといった声が多数寄せられています。

<子どもの目線に合わせた環境設定を工夫しています>

玄関を入ると壁には、いろいろな写真がはられています。評価調査者は9月に訪問しましたので、その写真は、いろいろな虫、また、秋に鳴く虫、秋の草花などでした。子どもたちが立って見るときにちょうど良い高さに、意図的にカラフルに掲示されていました。子どもたちは散歩で見た虫や花などがあれば、目を輝かせて見入ります。また、子どもたちの散歩先のたくさんの写真も、子どもたちの目線に合わせてはられています。このように四季を通じて季節ごとの花や虫、あるいは生き生きした子どもの写真などを掲示し、子どもたちの興味や関心を引くように工夫しています。また、各年齢の保育室は低い棚で区切っていますが、その棚には、ぬいぐるみやブロックなどのおもちゃや絵本などがそろえられ、子どもたちが興味や関心のあるものを主体的に取り出して遊べるような環境になっています。

#### ◇特にコメントを要する点

<フリースペースに置いてある備品類を整理して有効活用を図ることを期待します>

当園にはフリースペースが二つあります。その一つは壁面に沿ってふだん使わない備品や遊具やおもちゃ類が整理して置かれています。それらがなくなれば、広いスペースが確保されます。0~2歳児の小規模保育なので、子どもたちにとってはかなり広いスペースが生まれます。園長は、そういったスペースがとれれば、子どもたちのお誕生会やリトミック、あるいは、お遊戯など、いろいろな利用の仕方が考えられると話していました。ただ、そういったものを収納する倉庫は施設にはありません。今後、さらに年月が経過すれば、いろいろなものが増えてくることは想像されます。今後は本社のエリアマネージャーと相談しながら、貸し倉庫を利用する方法や、系列園に協力を仰ぐなどさまざまな方策を講じて環境整備を図ることを望みます。

<定例会議を決めて、職員相互の共通理解のうえで保育を進めていくことを期待します>

保育園として、必要十分な情報を分かち合うには職員全体が同時に情報収集し、その情報に対して意見交換をしてみんなが共有していくことが求められます。そのためには、ミーティングや職員会議など会議体が定期的、決まった時間帯で行われることが大切となります。当園は3年前は、小規模保育園として運営しておらず、定期的な会議体がなく必要に応じてお互いに話し合ってきました。その後、小規模保育園として正式に発足し、園長は情報の共有化、保育の質の向上のためには、少人数の職員といえども最低必要な会議は定例的に行うことが大事と考え、職員たちに話してきました。今年度は正式な会議体までは十分に整っていませんが、少しずつ、園長の考えは浸透してきています。今後、最低必要な定例会議はどんなものがあるか、職員と話し合っ共通理解のうえで実施していくことを期待します。

⑤ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

保育だけでなく事業計画や園の運営面での評価もあり、これから先、本園が目指していくことが  
見えてきました。  
会社としての基盤と、各保育園との連携をしっかりとし、これからも質の良い保育を通して地域  
や保護者様から信頼をいただける保育園作りをしていきたいと思えます。

⑥ 各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり